

学校だより 第198号(4-3)
け や き

櫻



令和4年6月3日

横浜市立永田中学校
横浜市南区永田みなみ台7-1
TEL045-715-5511

「本気、本質、本音、…本物」

副校長 五十嵐 玲

青空がまぶしく輝き、夏の気配を感じられる今日この頃となりました。本校の生徒は、夏のような熱い思いで、今月の23日に行われる「第47回 体育祭」に向けて、準備や練習を進めているところです。残念ながら、来賓の方々の参観は、ご遠慮いただくこととなりましたが、保護者の皆様には、ご参観いただく方向で調整を行っていますので、楽しみにしておいていただければと思います。

さて、校舎内をご覧いただいた方はご存じかと思いますが、校内には、「相田みつを」さんの詩がいくつか掲示されています。この掲示は、本校の山口教諭が生徒指導専任時代に作成したもので、様々な思いを抱えているであろう思春期真っただ中の生徒が、みつをさんの詩を読むことで、少しでも気持ちを楽にしてほしいという願いから生まれたものだそうです。

今回は、そのようなみつをさんの詩の中でも私の好きな詩「本の字」を紹介するとともに、本校生徒への私の願いを伝えさせていただきます。

『本の字』

本人 本当 本物 本心
本気 本音 本番 本腰
本質 本性 本覚 本願
本の字のつくものはいい
本の字でゆこう
いつでも どこでも 何をやるにも

○授業、部活動、行事等、様々な活動に「本気」で、そして、「本腰」を入れて取り組んでほしい。

○各教科、そして、その背景にある学問の「本質」に迫るような学びをしてほしい。

○一人でもよいので、「本音」で語り合える「本当」の友達を見つけてほしい。

最後となりますが、子どもたちは、「本気」で生きている「本物」の大人との出会いで、より大きく成長すると言われていきます。そこで、まずは、本校の教職員一人ひとりが、そんな素敵な大人でいられるよう日々精進してまいりたいと思います。ですので、今後も、保護者の皆さん、そして、地域の皆様のご支援・ご協力のほど、よろしく願いいたします。